

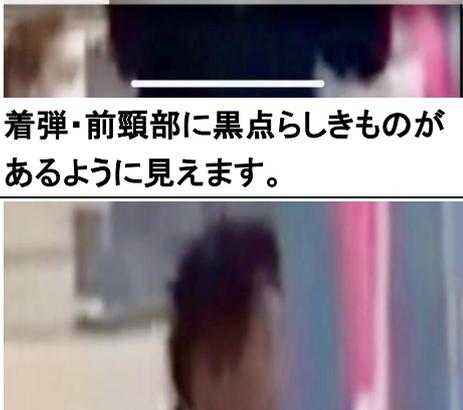
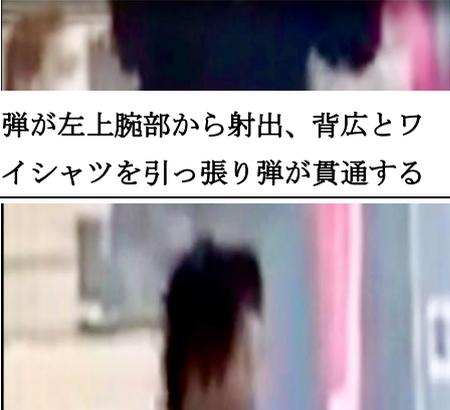
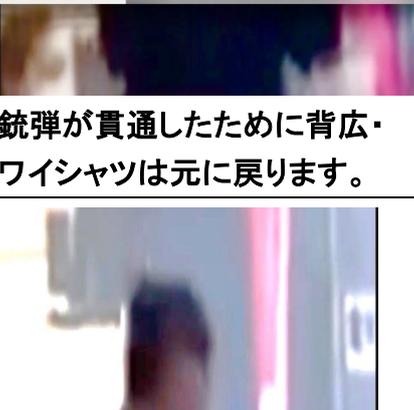
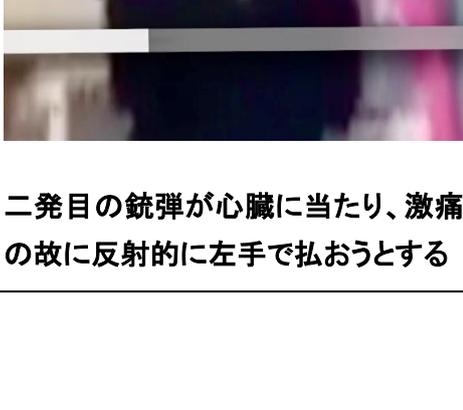
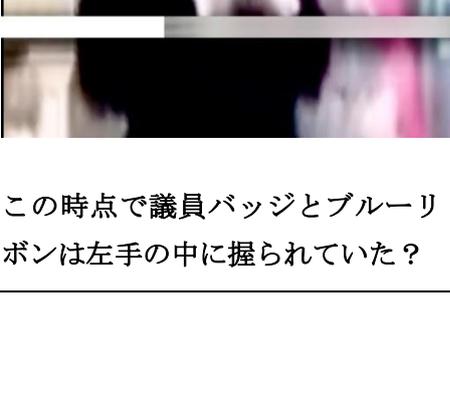
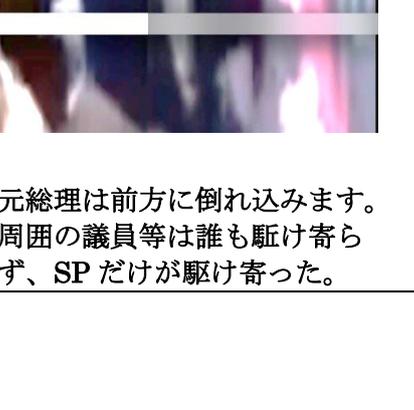
安倍元総理のワイシャツの右襟が大きく開いたのはスナイパーの銃弾が体内を貫通して左上腕部から抜ける時に背広とワイシャツを外側に強く引っ張ったからだと思われます。動画をご覧頂くと一瞬、背広が大きく動くのが確認できます。

スナイパーの銃弾の二発目が心臓壁を破壊した為に激痛が走り、そのため安倍元総理は反射的に左手でその得体の分からない物を取り除こうとして、議員バッジとブルーリボンを引きちぎったように見えます。

このブルーリボンと議員バッジは国葬儀の時に斎場の中央に飾られましたが、銃弾が当たったかの如く数個に割れていた様です。

しかし、音響解析では、バッジに被弾した音は記録されておりません。この割れたバッジは暗殺後に何者かによって山上の放った銃弾が当たったように偽装工作されたものと思われます。

動画 URL: <https://t.co/4BZNUXUeJT>

 	 	 
着弾・前頸部に黒点らしきものがあるように見えます。	弾が左上腕部から射出、背広とワイシャツを引っ張り弾が貫通する	銃弾が貫通したために背広・ワイシャツは元に戻ります。
 	 	 
二発目の銃弾が心臓に当たり、激痛の故に反射的に左手で払おうとする	この時点で議員バッジとブルーリボンは左手の中に握られていた？	元総理は前方に倒れ込みます。周囲の議員等は誰も駆け寄らず、SPだけが駆け寄った。